

# 楓園

ISSUE  
2021 6/1

92

FÛEN [フウエン]  
Toyo Eiwa Jogakuin  
Public Relations Report

[巻頭特集]

## 東洋英和&ICT

- 次世代の学びへ Step up -

東洋英和女学院  
東洋英和楓の会

# 東洋英和&ICT

- 次世代の学びへ Step up -

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、リモート授業への移行を迫られた昨年4月。現場の教員はどのように対応し、今後の英和でのICTの展開をどう考えているのか、小学部から大学まで、立場の異なる6名の先生に語っていただきました。



## 座談会

教育に一石を投じたICT利用。  
それをきっかけに、  
改めて教育のこれからと  
未来を考える。

※座談会は2021年2月16日に行われました。

### 手探りではじまった リモート授業

**楠山** みなさん、本日はどうぞよろしくお願いたします。まずは昨年4月、5月にリモート授業を行ってみてどのような感触を得たか、ご報告をお願いできますでしょうか。

**高田** 小学部では電子黒板を使っていましたが、児童の人数分のデジタルデバイス（パソコン、タブレット）は揃っていませんでしたので、ご家庭のデバイスを使っていたのですが、また、児童の年齢によっては保護者のサポートが必要なので、授業動画は、保護者の都合のよいタイミングで見られる方式で配信しました。4月当初は、教員から一方的に課題動画を送っていましたが、小学部は児童全員が「ロイノート・スクール」（学習支援アプリ）のアカウントを持っていて、私が担当する算数では、途中からロイノートを使った双方向のやり取りも行いました。

**高橋** 中学部はホームページに学年ごとのページを作り、授業ごとに一度のペースで授業内容を更新しました。基本的に一枚の文書（PDF）で完結させて、別で動画やプリントを用意した場合も、文書内にリンクを貼るようにしました。また、例え

### 聖書の言葉

（前略）自分は信仰を持っていると言う者がいても、行いが伴わなければ、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が、彼を救うことができるでしょうか。

（ヤコブの手紙 2章 14節）

信仰は大切です。しかし、真の信仰は必ず善い行いを生み出します。信仰によって神様を愛するのであれば、必然的に他者をも愛するようになり、その隣人のために善い行いをするようになります。本学院の建学の精神もこの真実を表しています。信仰によって神を愛し敬うこと（敬神）と神から愛されている隣人を愛し、隣人に仕えること（奉仕）がつながっています。信仰と行いは車の両輪となって健全な生活を走らせています。

東洋英和女学院理事・評議員、青山学院副院長 シュー土戸 ポール

## 座談会に参加してくれた先生方



大学 人間科学部人間科学科  
**柳沢 昌義教授**

東京工業大学大学院博士課程修了。博士（工学）。専門分野は教育工学、科学教育、リメディアル教育。1999年から東洋英和女学院大学。情報技術を活用した学習についての論文も多数。



東洋英和女学院理事・評議員、青山学院副院長  
**シュー土戸 ポール先生**

アラム大学にて日本文化を学んだ後、ハーバード大学大学院、フラー神学大学院に進む。青山学院にて副院長のほか、大学宗教主任・文学部教授・学院宣教師を務める。2012年より東洋英和女学院理事・評議員。



高等部長  
**楠山 眞里子先生**

2006年東洋英和女学院に着任。2017年から高等部長を務める。担当科目は英語。iPadやクロームブックなどさまざまなデバイスを活用できるマルチラーニングルームの整備なども進める。



小学部教諭  
**高田 直樹先生**

2007年東洋英和女学院に着任。担当科目は算数。現在は6年生の担任を務める。東洋英和女学院に赴任した当初からICTを担当し、導入や運営に関わっている。



中学部教諭  
**高橋 希穂先生**

2017年東洋英和女学院に着任。担当科目は数学。新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン授業が始まるなか、率先してICT活用を進め、先生方の支援も行う。



高等部教諭  
**飯川 厚先生**

2005年東洋英和女学院に着任。担当科目は社会。2020年度は「毎回の授業でデバイス（クロームブック）を使う」を目標に生徒を指導した。

ば国語であれば、「この文章を読んでも考えましよう」といった指示書のみでもよしとしました。私は以前からホームページの担当だったこともあり、中高部の先生方に授業を配信するための手段を考えて教える立場でしたが、昨年4月、5月の時点で「まずは、それぞれの先生のできる範囲内でやる」という方針で行いました。

楠山 高等部は少し事情が異なりましたよね？

飯川 はい。2年生、3年生に上がった生徒は、4月の時点で全員がデジタルデバイス「クロームブック」を持っていて、オンライン学習システム「Google Classroom」も動き始めていたので、割合スムーズに進められたと思います。授業動画を配信し、Google Classroomで生徒と質疑応答をしたり、週一回を目安に課題を出して、生徒に提出してもらったりしました。大きな混乱はなかったですが、3年生の受験指導においては、対面でないと感じることが多々ありました。

楠山 「Google Meet」（ビデオ会議ツール）も使いましたか？

飯川 昨年4月、5月は、授業動画の配信のみで、Google Meetを使っていった教員はあまりいなかった。

## Contents 表紙写真：電子黒板とノートパソコンを用いての高等部3年「地理」の授業

【巻頭特集】

### P.01 東洋英和&ICT

- 次世代の学びへ Step up -

From the Garden of Kaede

### P.09 楓の園から [学院 NEWS]

P.15 Cartmell's Prayer [宗教教育委員会]

P.17 教員紹介

P.19 学院人事

P.21 東洋英和楓の会

たと思います。

**楠山** 高等部がオンライン授業に素早く移行できたのは、クロームブックを持っていたことが大きいですね。大学はいかがでしたか？

**柳沢** 緊急事態宣言が発令される前後で協議を行い、すべての授業をオンラインで行うことが決定されました。突然の決定だったため、約一カ月かけて全教職員が準備にあたり、昨年5月13日からオンライン授業が始まりました。使用ツールはGoogleクラスルーム、「Zoom」、すでに導入していた学習管理システム「LMS」(Learning Management System)の3つを基本に、学生や教職員に対する説明会を何度も開きました。学生、教職員ともに数が多いので、一律で同じことはできませんでしたが、試行錯誤しながら、なんとか乗り切ったところですよ。

**楠山** 何割の学生がデジタルデバイスを持っていましたか？また自宅のネットワーク環境はどうでしたか？

**柳沢** 昨年4月、全学生にアンケートを取ったところ、パソコンやタブレットの所有率は回答が得られた学生の95パーセントを超えていました。大学側の対応としては、大学が所有するノートパソコンを無償で貸し出

す方針を立てましたが、実際に借りた学生は十名程でした。一方で、インターネットの接続環境のほうはまちまちで、回線が途中で切れてしまったり、自宅にインターネット環境が整っておらず、最初のうちは喫茶店などから講義を受けたりする学生もいました。

### 誰も経験したことのないすべての授業のオンライン化

**楠山** 大学の先生方はオンライン授業の方法をどのように学ばれましたか？

**柳沢** FDF(Faculty Development)委員会が中心となり、授業の作り方や、Googleクラスルームの使い方について、それぞれ得意とする教員が動画を配信しました。また既存のLMSでどのように授業をやっ

ていくかについての講習会や、Zoomを使った講習会も、学科別、テーマ別、個別対応も含めてきめ細かく行われました。昨年の4月、FDF委員会の先生方は、講習会や個別対応に忙殺されたかと思えます。

**楠山** シュー先生、青山学院大学さんの状況はいかがでしたか？

**シュー** 私個人としては、以前からLMSやeラーニングシステムに関わっており、一時はシステム開発にも携わっていたので、ICTの情報やノウハウは持っていました。ですが、すべての授業をオンラインでやるのは初めての経験ですので、正直戸惑いました。結論としては、YouTubeチャンネルを開設して講義の動画をアップし、授業のためのWEBサイトも立ち上げ、二つとも

一般公開しました。大学のeラーニングシステムでは、一般公開できない教材やテストをアップしたり、学生との質疑応答に使ったりしました。すると、学生以外の大勢の人が私の講義を見るようになったんです(笑)

**楠山** 一般の人たちがですか？

**シュー** 動画を一般公開することで、学生だけでなく、一般の人たちからもアクセスしやすくなったようです。また多くの学生はスマートフォンで動画を見ますから、重いファイルダウンロードするのは大変です。その点YouTubeであれば、手軽にアクセスできて、便利な機能もあり、学生にとっては講義が見やすかったようです。ですが、授業の動画を作るのは大変でした。

**高橋** 動画一本作るのにどれだけこ

だわるかは、判断が難しいところですよ。私自身は、最初のころは編集にはまりすぎて、短い動画を作るのに何時間もかかってしまつて……。言い間違いをしてもその場ですぐ訂正できる、対面授業の素晴らしさをひしひしと感じました。

**高田** 動画の制作、編集をどこまで突き詰めるかは、教員のICTに対する興味、熱量の差もあるように思います。私は、パワーポイントに音声を入れて動画を作ろうと思いましたが、言葉を噛んで撮り直すのが大変なので(笑)、自宅にホワイトボードを買って、カメラを前に普段通りに授業をしました。言い間違えても「ごめん、今のなしね」と断って続行し、編集も最低限にとどめてYouTubeに限定公開しました。ただ話は戻りますが、特に小学校低学年においては、保護者の協力がないとオンライン授業が成立しないという大きな課題があると思います。

**楠山** シュー先生、海外の小学校の状況はどうなっていますか？

**シュー** 例えばアメリカの小学校では、学習のための道具の一つとしてデジタルデバイスを当たり前のように使っています。ですが教員がいないと、子どもたちは上手に使いこなすことができません。子どもの年齢が低いほど、そばに親や教員などの



指導者がいることが重要です。

### 学ぶ側にとって ベストな学習スタイルとは？

**高橋** 生徒たちにとっては長時間動画を見続けるのは苦痛だろうと思いい、先生方には「動画は20分以内に収めてください」とお願いをしました。ですが大学に通っている友人の話を聞くと、大学のオンライン授業はすべてZoomで、「時間が長くて疲れはするけど、オンラインでやり取りするし、お互いの顔も見えているので問題ないよ」と言っていたんです。

**楠山** 大学での学生からの反応はいかがでしたか？

**柳沢** 前期・後期ともに学生にアンケートを取りましたが、オンライン授業にメリットを感じている学生が多いと感じました。Zoomなど双方向のやり取りが成立する授業は、学生にとって受けやすかったようです。

**高橋** 昨年の秋、中学部の生徒にも一人ひとりにクロームブックが配られました。今年1月にリモート授業になってからは、朝のコール(朝礼)はGoogleミートで行い、参加しないと担任から連絡がいくので、「去年のリモートのときより生活のリズムが整って良かった」とい



座談会は楠山先生をモデレーターとして、シュエ先生をコメントーターに迎えて行われた。対面、オンライン両方での参加があった

う生徒の声がありました。ただ一方で、画面を見続けるのが苦痛な生徒もいて、去年のように一週間分の課題が出て、自分のペースで勉強するほうががんばれる子もあり、生徒によってさまざまだと感じます。

**シュエ** 大学でも同じようなことが起きています。以前なかなか学校に来られなかった学生が、オンラインになってから授業を受けやすくなり、カウンセリングなどの支援も必要なくなりました。その反面、何も問題のなかった学生が、オンラインではやる気が出ない、課題がなかなか終わらない、といった悩みを抱えるようになっていています。

**楠山** 大学の授業は、ずっとオンラインですよ？

**柳沢** はい、そうなります。私自身

は、2020年度は100パーセントオンラインです。

**シュエ** 私の青山学院大学での授業に関しては、実は対面よりオンラインのほうが出席率が高かったです。課題をやる比率、成績の平均値も、オンラインのほうが高いです。私は1限目と2限目を担当していたので、朝が苦手な学生にとってはオンラインのほうが都合がよいのと、講義の動画や小テストなどの課題もオンデマンドで好きな時間に見られるので、多くの学生は夜にやっているように

**柳沢** 大学の場合、長時間かけて通学する学生もいるので、自分の好きな時間に勉強できるのは大きなメリットなのだと思います。動画は繰り返し見ることができず、要領の

いい学生は、授業の動画を早送りで見たりして効率良く勉強しているようです。ただ興味深かったのは、ある授業を対面、動画、Zoomの3つの方式で行ったところ、多くの学生が対面を選んだことです。学生に聞くと「対面のほうが授業を受けた気になる」とのことですが、選べるなら対面がいいというのは意外でした。

### 対面、動画、オンライン それぞれの良さを生かす

**楠山** 学生にとっても、対面に勝るものはないということなのでしょうね。では次は、今後、対面とICTをどう共存させていくかについて話し合ってみたいと思います。

**シュエ** 柳沢先生がおっしゃったことが、一つの答えではないでしょう

か。学生の学習スタイルに合わせて対面かオンラインかを選べることはICT教育の強みだと思います。

**飯川** 私が担当するクラスでは、対面授業が再開してもしばらく自主休校する生徒がいたため、対面授業をしながらGoogleミートで授業をライブ中継したり、録画した授業をGoogleクラスルームにアップしたりしました。対面では最低限知っておくべきことを教え、もっと勉強したい人には動画や課題配信などのオプションを用意することで、多様な学習スタイルに対応できている手応えがありました。学ぶ側に選択肢を与えることが重要だと思いました。

**楠山** この点において、中学生はどうですか？

**高橋** 中学生の場合は、学校に来ることや、みんなと同じ場所にいることに大きな意味があるように思いますが、学目的もまだ明確でない生徒が多いので、いろいろな個性の人がいることを肌で感じたり、周りの子と助け合ったりする環境が大切です。オンラインの場合、Googleミートでクラス全員が介しても、マイク音声をオフにすることもあるので、生徒の反応やクラスの空気感を感じにくいのです。中学生においては、みんなが同じ場にいるのを感じられ

る方法がいいのかなどと思います。

**高田** 学習に関しては、動画のほうが進度を速くできますよね。小学校の授業は、児童からの質問で中断することが多いのですが、動画は一方通行なので、普段40〜45分かかるところが、要点を詰めてしゃべると10分程度で済むこともあり効率的です。ただ人間として成長する機会には、対面でしか得られません。

### オンラインで 人間的な成長は可能か？

**シュー** 高田先生がおっしゃったことを突き詰めると、「学校教育の目的とは何であるか」という問題にぶつかると思います。学校は人格形成の場であり、一人の人間として成長させ、社会に貢献できる人をつくり上げることです。特にキリスト教学においては重要な課題であり、人



学生の学習スタイルに合わせて、対面かオンラインかを選ぶことはICT教育の強みだと話すシュー先生



失敗することも含め人間として成長するための貴重な機会は対面でしか得られないという高田先生

格形成のためにも対面は絶対的に必要なのだと思います。私は青山学院大学でキリスト教概論の授業を担当していますが、YouTubeというメディアを通して学生の個人としての成長を促せるのか、いち教員としてとても悩んでいます。

**楠山** 東洋英和はキリスト教学校なので、リモート時もオンラインで朝の礼拝がありました。昨年の4月、5月はYouTubeで一般公開したので、多くの卒業生が見てくれたようです。

**シュー** 青山学院大学でも同じようなことがあります。今年に入ってから全ての礼拝をYouTubeで配信していますが、学生の保護者や卒業生から、「久しぶりに礼拝を見ました」「懐かしいです」といったコメントが大学に寄せられているよ

うです。

**飯川** 高田先生から「年齢が下がるにつれてリモートが難しくなる」というお話がありました。小・中・高と大学との違いに、学級活動があるように思います。高校の学級活動をGoogleミートで行うことには限界を感じました。生徒にとってクラスメイトと学び、休み時間や放課後とともに過ごす空間が大きな成長の場だと思いますが、これらはリモートでは代えがたいものです。朝のコール（朝礼）も、オンラインだと盛り上がりがない気がするので、教員のほうから何か仕掛けないといけないですね。

**高橋** リモート期間中、私のクラスではときどきお昼にオンラインでランチミートを開きました。多いときは十数人集まってきた。「最近どう？」「今日の授業どうだった？」と気軽な会話をしますが、ふとした会話から、友だちとビデオ通話をつなぎながら授業を受けている子がいるのを知ったりと、いろいろな発見がありました。

**高田** 人格形成でいうと、オンラインでの会話は子どもたちの失敗の機会を奪うように思います。オンラインで話すときは、言葉を発する前にタイミングを図りますよね。子どもたちがみんなでワーツと騒ぐとき、



デジタルデバイスを禁止するのではなく、インターネットの危険性を幼いうちから学ぶ場が必要と高橋先生は話す

勢いで何か言ってしまうって気まずい雰囲気になることもあるのでしょーうが、そうしたときの失敗も、人間として成長するには大切なことです。ですが、オンラインだとつぎのことが起きにくい、失敗も含めて貴重な経験をしにくいように思います。

**柳沢** 先ほど飯川先生がおっしゃった学級の話ですが、東洋英和女学院

### 教育のICT化は ますます加速していく

**楠山** 小学部から大学まで幅広いですが、今後東洋英和のICT教育をどのようにしていったらよいか、柳沢先生の専門的な見地から何か提案はありますか？

**柳沢** 義務教育においてICTの活用を推進するプログラムである「GIGAスクール構想」が動き出したこともあり、学校教育とICTはますます切り離せなくなります。おそらく十数年後には、教科書は全て電子教科書になり、黒板も電子黒板に取って代わられます。こうした流れを、コロナ禍が後押しした形になります。この一年間の経験を通してICTだけで成立する部分もあることがわかりましたので、コロナ禍が終わっても全てを対面に戻さず、何割かはICTのメリットを活用した新しい授業形態を作っていけたらいいのではないのでしょうか。

**楠山** シュー先生はどうお考えでし

ようか？

シュー 学ぶ側が自分に合った学習スタイルを選べることは、とてもいい流れです。児童の年齢が低く、オンライン化が難しい小学校でも、授業動画を少しずつ収録してストックしておき、勉強についていけず苦労している児童がいつでも見られるようにすることはできますよね。アメリカをはじめとする海外では、対面とオンラインを両立した教育を既に実践していますから、そのいいところをどうくみ取り、生かしていくことが重要になってくると思います。

飯川 昨年6月に対面授業が再開したとき、「みんなが集まったときにしかできない授業」について改めて考えました。コロナ禍で自由に話し合う活動ができないため、例えばクローズドブックを介して質問やコメントのやり取りをすることで、生徒同士の学び合いが広がるのを感じました。生徒が一人で学べることは動画を作成するなどしてスリム化し、対面の授業ではみんなが集まらないとできないことに注力することで、学習の効率や質が上がるように思いました。

### 社会の流れに応じたシステム作りが必要

高田 柳沢先生からお話のあった、

GIGAスクール構想ですが、私自身は、小学部におけるデジタルデバイス導入や、低年齢の児童がインターネットを使うリスクに大きな不安を感じます。子どもたちは情報の取捨選択ができないので、セキュリティをかける必要がありますが、強固にすると不便ですし、かといって全ての情報にも自由にアクセスでき



オンライン授業がきっかけとなり教員の意識改革や意欲向上、組織の活性化につながれまいという飯川先生

るのは危険ですし……。

シュー 子どもたちが危険な情報に触れないための環境、システムを整える必要があります。私には中学生と高校生の息子がおり実感するところですが、高田先生がおっしゃることは保護者の問題でもあり、教員だけで背負えることではないと思います。

高橋 低学年でデジタルデバイスやインターネットに触れる危険性はよく理解できますが、「触れさせないことがベストなのか？」とも思いません。中高部では登下校中のスマートフォンの使用を禁止していますが、もはや生徒のほうがデバイスに慣れていて、情報も知っているので、教員のほうも何が危険で何が安全かを学び、小学生のうちから児童に教える場を作っていくことが必要だと思います。

高田 デジタルデバイスやインターネットを自由に使っている子と、一切使っていない子が混在するなかでの情報教育はとても難しいですが、自分のデバイスを持つ時期はほとんど低年齢化しています。これからは使用を禁止するのではなく、上手に使う方法を教えていく時代ですよ。

楠山 柳沢先生、専門のお立場から何かご意見はありますか？

柳沢 先日、LINEみらい財団と共同研究を行った先生と、小・中・高校生のLINEとの付き合い方について勉強会を開きました。共同研究をした先生がおっしゃるには、スマートフォンなどのデジタルデバイスの使用を開始した年齢と、将来非行に走ったり、補導されることとの因果関係はなく、いかに情報モラル教育をしたか、親や先生と信頼関係

を構築できていたか、によるところが大きいというお話でした。

### 求められているのは教員の意識改革

シュー 今後、ICTが学校教育のなかでどういう役割を果たしていくかなのですが、コロナ禍などの非常時の対応に役立つのはもちろん、毎日の教育の道具の一つとして活用できると思います。授業や情報を発信するのは動画、オンラインで簡潔に伝え、対面ではアクティブラーニング、ディスカッションをより楽しめる内容にしていく。私としては、今後対面の授業に戻ったとき、ICTを用いることで教室での時間をより効率的に使えるのが楽しみです。

飯川 動画、オンライン授業は、優秀な予備校の先生や、その道のスペ



柳沢先生はデジタルデバイスの使用と子どもの非行に因果関係はなく、親や先生との信頼関係構築が大切と説明する



ICTを一つの教育の道具としてとどこまで上手に使うかが重要だと締めくくると話している楠山先生

シャリストに負けているという危機感があります。教員が危機感を持つことで「授業を変えていこう」「こんなこともできるぞ」という意識改革につながり、組織の活性化や、一人ひとりの意欲の向上につながっていくといいなと思っています。

シュー 飯川先生がおっしゃることはとても重要です。ただ授業を行って、情報を伝えるのではなく、みんなで集まって何をするかという視点で教育を見ないと、東洋英和の教育の次の発展も見えてこないように思います。

楠山 オンラインと対面の授業をどう組み合わせっていくか、未来を生きる子どもたちのためにICTを一つの道具としてどう使っていくのか、東洋英和のこれからが楽しみです。みなさん、本日はどうもありがとうございました。

# &ICTで東洋英和の新しい可能性が広がる

東洋英和のICTを使用した教育の取り組みを紹介します。  
実験動画配信やオンライン進路指導、コロナ禍以前から行われていた  
学生の参加意識を高める授業など &ICT で広がる新しい可能性を伝えます。

## &ICTの実践で見えてきた新しい授業の形



YouTubeで限定配信した実験動画「ペットボトルで空気砲をつくろう!」。授業動画も配信した



### 児童の声



小学部 5年  
一越 ころろ さん

### いろいろなことを オンラインでやってみたい

タブレットを使つての勉強は大変でしたが、国語、算数だけでなく、体育や音楽などさまざまな科目の授業動画が配信されたので、がんばって続けられました。家で料理や裁縫が学べる家庭科の授業や天体観測も、今後オンラインでやってみたいです。

リモート授業の試みの一つとして、身近な物で簡単にできる実験動画を配信。結果は感想文や写真、動画など好きな形でロイロノートに上げてもらい、みんなで共有しました。実験結果を写真に撮って共有することは、子どもたちの創造性を育むと感じます。対面の授業でもデバイスを活用し、子どもたちが積極的に参加できる授業にしていきたいです。



4～6年理科担当  
高寺 なつ乃 先生

## &ICTオンラインの利点を生かした進路指導を実施

昨年度、4月から7月半ばに延期された「卒業生による進路ガイダンス」は、各地の卒業生とオンラインでつなぎ、リモートで行いました。

オンラインの利点は、遠方在住の卒業生の参加および平日昼間でも大学の講義の合間を利用しての参加が可能となったことです。前のスクリーンに映った情報を手元のタブレットで画面共有して見たり、美術大学に通う卒業生が、作品を多数披

露できたのもオンラインならではの。中高部の生徒はデバイスを持っているので、大学や入試に関する資料のペーパーレス化を考えています。この先も社会情勢を考慮しつつ、そのときできるベストな形の進路ガイダンス、情報提供を行ってまいります。



オンライン進路指導の様子

### 生徒の声



高等部 2年  
北野 美咲さん

### 自己管理が求められるオンライン授業

高校生になって自分のパソコンを持ち、オンラインで授業を受けるのも初めてだったので、最初は全てが手探りでした。授業動画は好きときに繰り返し見られるのでマイペースで勉強できますが、自分で考え、判断しなければならぬことが増えたと感じます。当たり前だと思っていた先生や友だちと会って話すことの楽しさ、ありがたさにも改めて気づきました。



進路指導主任  
諸澤 珠実 先生



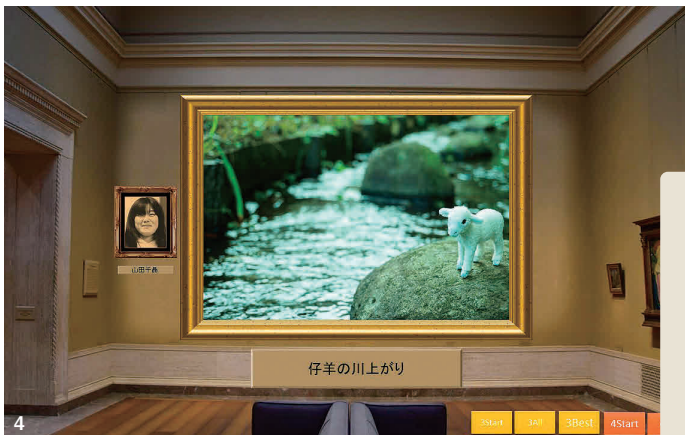
1



2



3



4

1・2 教室の壁全体を電子黒板にして映像を投影 3 電子黒板に学生の質問が流れ先生が答える。学生の授業への参加意識を高める 4 山田さんが撮影した写真をバーチャルのメトロポリタン美術館に展示

2020年度のコロナ禍では、Google Classroom、Zoomを組み合わせ、オンライン授業を進めました。

実際に会えないつらさがあるものの、通常の授業では教員の顔しか見ない学生たちにとって、互いの顔や私室が見えるZoomは、親密になるきっかけになったようです。学生のネットワーク環境によっては、インターネットにつながらないなどトラブルもありましたが、前期でかなり改善されました。

一方、従来からのICT教育として、教室の壁全体を電子黒板にし、画面上のコンテンツの中に私が入り込むという取り組みを行っています。「人間と宇宙」「メディア演習A」では、宇宙や絵画、写真などのリアルな大きさにふれ、その臨場感の中で知識とは違う疑似体験を得られます。

双方向授業という観点では、ニコニコ動画のように、学生の感想や質問が画面上を流れていくようなシステムを構築しました。質問は画面下に落ちて溜まり、回答すると消えるため、疑問の取りこぼしがありません。消極的な学生も、他者の目を気にせず、匿名で書き込めるというメリットも。将来的には、私が映り込んだ授業を録画し、それを見せながら私の実体がティーチングアシスタントをしたり、欠席した学生がオンデマンドで同じ授業を見られるようにしていけたらと考えています。



大学  
人間科学部人間科学科  
柳沢 昌義 教授

## 学生の声

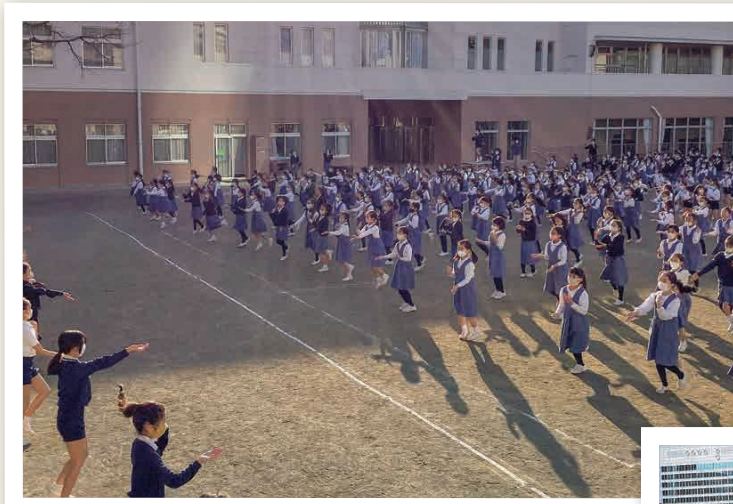


### ICTによる記憶に残るプレゼンテーション

入学時の情報スキルに個人差がある中、1年次の情報教育の授業が役立ちました。壁全体をスクリーンにする柳沢先生の授業は、一歩先のプレゼンテーションを見ているようで、その臨場感に集中するだけでなく、記憶にも残ります。

人間科学部  
人間科学科卒業(2021年3月)  
山田 千晶さん

# From the Garden of Kaede



2



1

## 2020年度小学部の 生活を振り返って

- 1 「休校の間の先生方」  
児童に送る課題や動画の作成を行う先生方 (3～5月)
- 2 「木曜体操」  
週に一度全校で行う木曜体操。マスクをして決まった場所にて
- 3 「スポーツウィーク (運動会の代替行事)」  
学年ごとに開催した運動会。いつもと違っていても、できたことが嬉しい(10月)
- 4 「音楽の授業」  
感染しない、感染源とならないために工夫された授業風景
- 5 「みんなのつぶやき」  
新しい生活様式で会話ができないから、  
みんなの心の声を書いて！聞いてあげる！



3



4



5

コロナ禍での給食

小学部 馬淵智子

**小** 学部の給食は、全校が揃って神さまに感謝し共に食する時間です。1テーブル10人前後で、教員と児童が会話を楽しみながら給食をいただきます。5、6年生のホステスが1、2年生のために配膳から片付けとお世話をしあげることが伝統でした。ところが、新型コロナウィルスの影響により、当たり前だった毎日の給食の時間が持たなくなりました。3密、会話を交えた飲食はリスクが高いためです。

コロナ禍での給食は、全員前向きで間隔を充分とる。配膳は、児童は一切せず給食の方がなさる。食事中のお話は禁止。おかわりもなし。学校生活の中で唯一マスクを外す時間のため、児童の安全を考えこのような形を取らざるを得なくなりました。全員前向きで間隔を充分とらなければいけないこの形では、全児童が一度に給食をいただくことはできません。そこで、小学部初の2回転給食を行うことになりました。1回目の給食は4、5、6年生で11時15分開始です。2回目の給食は1、2、3年生で12時25分からの開始です。そのた

め、チャイムは鳴らさず、4時間目から2パターンの時程で授業を行うことになりました。給食の調理の方たちは朝早くから出勤なさり、調理、配膳をし、1回目の給食終了後から消毒、2回目の給食の配膳と慌たたく作業をなさってくださいます。学校再開直後の給食は、時間の都合上簡易給食という形で提供していましたが、徐々に従来の給食の形になり、汁物や手作りデザート、セレクデザートまで提供できるようになりました。給食に携わってください

方たちには、感謝の気持ちでいっぱいです。2回転給食当初1回目の給食後、児童の食器の片付けを教員でやっていましたが、2月より3年生以上は自分の食器のみ所定の場所に片付けることになり、教員の負担もだいぶ減りました。食事中に話をしてはいけない、黙って食べるにはどうしたら良いのか、学校給食委員会の先生方と検討した結果、給食中に音楽を流すことにしました。この委員会のメンバーである私が、毎日担当することになりま

した。



1 1～3年生 全校校庭を向いての前向き給食 2 カフェボードには、食育を兼ねた「今日の給食どこから来たの?」と本日のプレイリスト 3 大人気メニュー いかのかりん揚げと大根と春雨のピリ辛炒め (チャプチェ)。デザートは焼きリンゴ ホイップクリーム添え 4 毎日のプレイリスト

児童が歌ってしまわないように、曲はボーカルなしで、アップルミュージックのサブスクリプション(聞き放題)を使い、毎日いろいろなジャンルの音楽をプレイリストにして流し始めました。ジャンルはいろいろで J-POP、K-POP、クラシック、映画音楽、ディズニー、ジブリ、テレビテーマ曲など。アドベントの時期には、イエスさまの降誕を待ち望む曲、創立記念にはドラマ「花子とアン」の曲、毎月11日は震災を覚える日として復興、応援に關する曲などを選んできました。毎日、食堂入り口のカフェボードにプレイリストを貼ることも始めました。また、数回子どもたちや先生たちにリクエストも聞きました。子どもたちからの反応は大きく、「今日の○○すごくよかった」「先生、○○をかけてくれてありがとう」「次は○○特集してね」など、給食で流す音楽を楽しみにしてくれているようで、私自身励みにもなりました。

給食音楽のおかげか、小学部の給食は今までになく静寂、静けさに包まれ、お話できないけれど音楽を聞きながらお食事を味わう時間になっています。コロナ禍の給食ですが、少しでも子どもたちが喜んでくれて、心地良く、楽しい時間になってくれればと思っています。

コロナ禍で隣人と寄り  
添う中高部YWCA

YWCA顧問  
副院長 高橋貞二郎

**新**

型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中高部YWCAでも毎年行っていたことができなくなり、制限された中での活動となりました。ですが、YWCAの役員、会員は「敬神奉仕」の精神に基づいてこの状況の中で何ができるかを考え、積極的に実践してきました。その活動によって、今までとは違った仕方でのいろいろな方々に寄り添い、力になり、お支えることができました。今回は、その中でも特に三つの活動についてご報告いたします。

### 熊本豪雨災害被災者支援

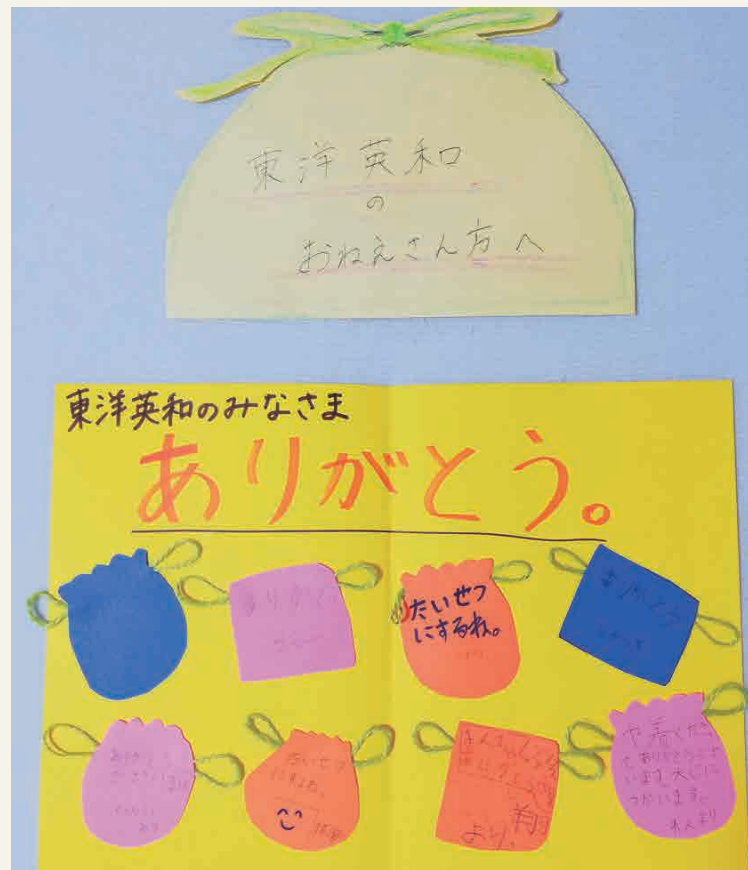
2020年7月3日からの豪雨によって、熊本県を中心に洪水や土砂災害が発生しました。被災された方々が日用品、食品、コロナ感染拡大防止対策の物資を必要とされていることを知った役員は、直ぐに物資提供を全校生徒に呼びかけ、支援物資を集めました。集まった支援物資は、段ボール17箱にもなりました。それらの物資を熊本YWCAへお送りし、被災された方々に用いていただきました。



次々と寄せられる熊本豪雨災害被災者支援の献品



子どもたちへお送りした小物入れ（巾着）と手紙



児童養護施設「のぞみの家」から届いた感謝状

### 児童養護施設や福島県の こども園にお送りした 小物入れ（巾着）

今年、児童養護施設「のぞみの家」（武蔵境市）に訪問することができませんでした（毎年、花の日やクリスマス時期に訪問していました）。また、福島県にある原町聖愛こども園の園児の皆さんを遠分寮へお招きして行う夏期修養会も実施できませんでした。ですが、直接お会いすることができなくても心の絆を大切にしたいと思い、会員が力を合わせ、小物を入れる巾着を作ってお送りしました（上記の写真のようにビニールに詰めて、手紙を添えてお送りしました）。後日、可愛い感謝

上/聖句が記された「みことばクッキー・せんべい」  
 下/予約販売限定パッケージに使用されたオリジナルデザイン



コロナ禍で活動する役員（退職された先生方へ送るクリスマスカード作りの一コマ）

「みことばクッキー・せんべい」の予約販売

岩手県にある、障がいを抱えた方々の自立支援を行う施設「シャローム」では「みことばクッキー・せんべい」を作り、販売しています。中高部YWCAでは毎年それらを取り寄せて、楓祭で販売してきました。ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、楓祭での一般向けの発売が不可能になってしまったため、学内での予約販売を行うこ

状などもいただき、それらの物を通して、少しでも心を通わせることができたように思います。

とにしました。受験希望者や保護者の方々の購入数が望めず、いつもよりも販売数が低下するかと思われましたが、実際には例年の売り上げよりも約3倍の1074袋の予約があり、それら全てを販売することができました。その後、「シャローム」から「コロナ禍で販売収入が激減し、厳しい状況下で、東洋英和女学院様の注文は私たちに活気を与えてくださいました」とお手紙をいただきました。この売上金(約8万円)を熊本豪雨災害被災者支援金として熊本YWCAへお送りすることもできました。

その時々に応じた奉仕活動

東洋英和YWCAのルーツは「王女会」にあります。「王女会」の時代から会員たちは、社会の状況を見据えつつ、隣人のために何ができるかを考えて、その時々に応じた奉仕活動を展開してきました。今回も、パンデミックとなったコロナ禍で何ができるかを検討し実践しました。これからのようなことが起こるか分かりません。ですが、その時々に対応しい仕方でも隣人に寄り添い、奉仕活動を展開していくことを願っています。

『野尻キャンプサイト 50周年記念誌』いよいよ7月に刊行



英和生ならば一度は行ったことのある「野尻」。中高部では50周年を記念して『野尻キャンプサイト50周年記念誌』を発行することになりました。存続の危機を乗り越えてきた野尻の長い歴史や人々の思いを辿ります。東洋英和の「野尻」は卒業生が大きく関わり、生徒と教師と一緒に手作りするという独特の形態をとっています。その独自性と「野尻湖のあの土地」という最高の自然環境が、継承されるに値する文化を築いてき

たのだと思います。記念誌は希望者に寄付金付きで販売を予定しています。乞うご期待！

- ・売り上げはすべて野尻施設維持に使用します。未来の野尻のためにもご協力ください。
- ・販売方法につきましては、7月上旬に中高部HPに掲載いたします。

<https://www.toyoeiwa.ac.jp/chu-ko/>

話題の本を出版した  
在学生にインタビュー

色

字共感覚の持ち主である望月  
菜南子さん(人間科学部4年)

は、2020年夏に自身の日常を  
紹介する著書『1は赤い。そして世  
界は緑と青でできている。』(飛鳥新  
社)を出版しました。多数の新聞・  
ラジオに取り上げられている望月さ  
んに話を聞きました。

―大学生が共感覚をテーマにした書  
籍を出版したとあって多くのメデイ  
アで話題になっていますね。

ありがたいことに新聞やラジオで  
取り上げていただく機会に恵まれ、  
メディアの方々には大変感謝してい  
ます。メディアで取り上げていただ  
いた日に通販サイトの在庫数が減っ  
ていたりSNSで拡散してくれてい  
る人を見ると、反響があったと分か  
ります。知人が「新聞に載っていた



上/大学1年の時に、色字共感覚の経験を  
多くの人に知ってもらいたいとの思いで出版  
支援を行うNPO法人に企画書を提出、出版  
社との交渉を経て書籍化を果たしました。  
下/3月23日 Fm yokohama 朝の番組「ちょ  
うどいいラジオ」に出演。DJの光邦さんと

題が出されたり、  
心理演習という  
授業ではカウ  
ンセリングのロ  
ールプレイをや  
つてみたり、とい  
うものが印象に  
残っています。  
―大学生になっ

ね」と報告してくれたこともあつ  
て、私もびっくりしました。メデイ  
アを通して私の本の存在に気づいて  
くださった方がいるということは何  
か縁があるように思いますし、メ  
ディアの影響力の大きさを感じます。  
「私の本を見つけてくれてありがと  
う」という気持ちです。  
―大学ではどのような勉強をしてい  
ますか。特に印象に残っている講義  
などはありますか。

人間科学部人間科学科で心理学を  
専攻していて、臨床心理学のゼミに  
所属しています。中学生の頃から「心  
理学を勉強したい!」と思っていた  
ので、東洋英和に入学してからは「私  
はやっぱこういう勉強をずっとし  
たかったんだ」と感じる授業ばかりで  
とても楽しいです。3年生になってか  
ら実践的な授業が増えてきて、例え  
ば学校臨床心理学入門という授業で  
は自分がスクールカウンセラーだと  
してこういう生徒が相談に来たとき  
にどういう対応をするかを考える課

てから、高校までの自分と比べて変  
わったと思うことはありますか。

とても変わりました。大学生にな  
ってからの自由になったお  
かげか、高校生の時よりも自分は自  
分のままでいいと考えるようになり  
ました。校則があつてみんな同じよ  
うな勉強をするという環境も高校時  
代にしか経験できない大切なものだ  
つたと思います。大学生になつて  
からは自分が決めた目標に向かっ  
て、自分が関心のあることを中心に  
自主的に勉強することが明らかに多  
くなって、より自分らしさを大切に  
できるようになりました。このこと  
も、周りの人がやっていないことで  
も自分がやりたいことはやろうと思  
えた大きな理由です。自分の周りで  
本を出版したことがあるのは大学の  
先生くらいですが、私は共感覚につ  
いての本を出版したいから夢を叶え  
よう!という気持ちは大学生にな  
ってからすごく強くなりました。

―東洋英和でのキャンパスライフに  
おいて、共感覚にまつわるエピソード  
があれば教えてください。

1・2年生の時に、共感覚に興味  
を持つておられる先生が授業で共感  
覚について取り上げてくださったこ  
とと、同じく共感覚を持つ学生に出  
会えたことはとても貴重な経験で、  
本の中でも触れさせていただきまし  
た。共感覚を持つている人に出会っ

たのは初めてで、興味を持っていた  
方と話したこともあまりなかったの  
でとても楽しかったです。

―将来の夢・目標は何ですか。

大学卒業後は大学院に進学して、  
公認心理師の資格を取得することが  
目標です。心理的な支援を必要とし  
ている人との対話を大切にしながら  
生きていきたいです。

―その実現に向けて、東洋英和での学  
びがどのように役に立っていますか。

授業で私の目標意識を高めてくれ  
るお話をしてくださる先生が多くい  
らっしゃいます。公認心理師が活躍  
するのはどんな領域かなどといった  
現場に就いた時のこと、そして心の  
支援を行うためにはどんな知識が必  
要かなどを、心理専門職としての経  
験が豊富な先生方がご教示くださ  
います。そのため、自分が何のために  
心理専門職の道に進むのか、そして  
そのためには自分に何が必要なか  
を考える機会が多く、目的意識を持  
つて学びを深めることができていま  
す。目標を目標で終わらせることな  
く、実現できるように成長していき  
たいと思います。



2020年度学長賞を受賞。書籍化の発想と出版に至るまでの  
努力が称えられ、池田学長より賞状と記念品が贈られました。

わーい、温泉ができた。きもちいいな！



東洋英和幼稚園  
ICT化  
大切なのは「生」の経験

担任 宮坂里奈

**コ** ロナ禍におけるICT化で幼稚園の子どもたちにとって

も情報媒体を通しての交流が身近になりました。例えば、礼拝にオンラインで出席したり、直接会えない祖父母にテレビ電話で近況を知らせたりすることが増えています。また、休園中に幼稚園が配信した遊びを紹介する動画を見て、やってみたいという気持ちになり、家で遊んだ子どもたちもいました。しかし、どんなに便利な情報媒体を通してでも経験できないのは、「生(なま)」の経験です。幼稚園ではよくこのような遊びが見られます。砂場でシャベルを使って、大きな山を作ります。すると山の周りにできたくぼみが川になり、

山に穴を貫通させ、そこから水が流れるようにしようとしてますが、崩れそうになります。シャベルや水で山を固くして、なんとかトンネルから水が出るようになります。この工事は1週間ほど続き、山はさらに高く、川に梯子がかかり、最終的に水が溜まるダムもできました。そのダムが温泉になったので足を入れてお客もやってきました。子どもたちは試行錯誤し、失敗しながらも継続して楽しみました。幼稚園では、直接人や自然に出会い、直に触れることや自分で考えて行動することを大切にしています。子どもたちは自由に遊ぶ中で、友だちと関わり、初めての経験に緊張したり、時には葛藤したりと集団生活の三年間で時間をかけてさまざまな経験をして成長します。

将来はこの子どもたちも進学してICT教育を受けることでしょうか。情報を耳や目で瞬時に取り入れられることで効率よく物事が進み、身に付く情報も沢山ありますが、簡単に情報が入ることで経験を阻んでしまうこともあります。だからこそ、人間形成において重要な時期を過ごす幼稚園では、ICT教育を受ける前にまず子どもたち自らが時間をかけて考え、五感を通して直接触れ合い感じる「生(なま)」の経験を積み重ねていってほしいと願っています。

大学付属かえで幼稚園  
コマ回しを通して  
生まれた関わり  
2020年度年中組の生活より

担任 中川光子

**か** えで幼稚園では年中組の3学期、保育室に引きコマ(細い糸をコマの芯に巻き、引っ張って回すコマ)を置いてあります(年長組の保育室には投げコマが加わります)。

やりたくなった子どもからコマを手に取ります。子どもにとって、片手でコマを押さえながら、もう一方の手で糸を巻くことは難しく、うまく巻けずコマを手から落とす子どもも多くいます。保育者が手を取り、何度も一緒にやっているうちに、子どもは糸を巻き、コマを回すことを習得していきます。すぐに興味を示す子どももいれば、なかなかコマを手に取りたくない子どももありますが、園では、ある時点で皆に自分用の(個人持ちの)コマを渡します。それまでは初めての事には消極的なAちゃんでしたが、自分のコマがもらえる目と目を輝かせすぐに動き出しました。糸をうまく巻けないけれど何度も何度もゆっくり巻いてみます。それを隣で見ているBちゃんが「こうやるとうまく巻けるよ」と自分が巻く様子をAちゃんに見せてあげまし

コマ回し場を作って遊ぶ子どもたち



た。「そっかー。やってみる！」とAちゃんはそれからコツコツ取り組み、その日の午後には少しずつ回せるようになりました。

何日か経ったある朝、Bちゃんはホールの積み木で坂道を作り、コマ回し場を作りました。Bちゃんはひとり何度か楽しんだ後、保育室にやってきて大きな声で「コマ回し場やっています。コマを持ってきてください」と宣伝をしました。Bちゃんの誘いにAちゃんは「やってみたい！」と言い、コマを持って出かけて行きました。今まで遊びの中で関わることの無かった二人は嬉しそうに時と場所を共有していました。その周りには他の子どもたちもいます。AちゃんとBちゃんがコマを通して出会い、また新たな繋がりも生まれました。大勢でのコマ回し場では意見が違うこともあります。AちゃんBちゃん、その他の子どもたちも遊びを介して自分の思いを言ったり相手の思いを聞いたりしながら、なお成長しあっていくでしょう。



# 東洋英和幼稚園のキリスト教教育

## ともに生きる - 「敬神奉仕」を基盤として -

～わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。～  
 (コリントの信徒への手紙一 3章6節)

東洋英和女学院は、創立以来キリスト教に基づく教育を大切にしてきました。  
 これから5回にわたって、幼稚園から大学までのキリスト教教育と活動を具体的に紹介します。

### 東洋英和の最も小さい方<sup>かた</sup>へキリスト教による保育を ～ミス・ブラックモアの祈りと願い～

1914年、幼稚園は、当時校長だったミス・ブラックモアの祈りと願いによって、多くの理解者、協力者の支援を得て誕生しました。幼稚園八十年史には、“学校(学院)の中に、より小さい方<sup>かた</sup>のために組を作ってほしい”との願いが起る中で、ある日、電車の中で子育て中の一人の卒業生に出会ったブラックモア先生のエピソードが記されています。「その方が、基督教主義の保育をする幼稚園が如何に必要であるかといふことを、非常に熱心を以て話されましたが、それを聞いてある中に、私はこの要求はどんなにしても満たさなければならぬものだと感じたのです。よしんば、最上の幼稚園を作ることが出来ないにしても我々の力で出来る範囲での最上のものを作る筈だと考へました。」(『東洋英和幼稚園創立八十年の歩み』より)  
 こうして開園以来、東洋英和の最も小さい子どもたちへのキリスト教主義に基づく保育が継承され、約3800名もの子どもたちが幼稚園を巣立ち、現在に至っています。



ミス・ブラックモア

### キリスト教保育の実践の場として

第一に入園式、始業礼拝、終業礼拝、卒業式などの保護者と共に守る礼拝や、各学年やクラス毎に行われる礼拝を大切にしています。また、食前の感謝や降園前のひと時など、共に祈りと賛美を捧げています。そして、日曜日には近隣の教会学校へ通い、家族と共に礼拝に参加します。保育者は、遊びを中心とした園生活の全てに神さまが関わってくださり、どんな時でも子どもたち一人ひとりを愛してくださることを信じて、心を合わせて保育を行っています。  
 聖書の学びの会(つぼみ会)は、初めてキリスト教に出会う保護者にも分かりやすく、御言葉に親しむ時となっています。



1 クラスで守る礼拝  
 2 アドヴェント礼拝





1



2



3

## 神さまが創られた豊かな自然の中で

都会の真ん中であって、木々に囲まれた土の庭という恵まれた環境の中、子どもたちは、小さな虫や草花を手に取り、不思議さ、美しさ、面白さに気付く、感性が育っていきます。また植物を育て、収穫物をいただくことを通して、命を与え、育ててくださる神さまを知り、神さまに感謝する気持ちが芽生えていきます。

1 ビワ太郎さんと一緒にビワの収穫 2 おいもほりしよう 3 イチョウの木の下でページェント

## ぎんなん献金

アジアキリスト教教育基金 (ACEF) を通して、バングラデシュの教育支援を続けています。子どもたちは、まず写真や絵本、また現地からのお客様をお迎えして交流することなどを通し、バングラデシュに親しみを持ち、それから自分たちができることを通して喜んでもらうことを考えていきます。ぎんなん献金はこうして始まった活動です。年によっては、子どもたちと相談して、日本の災害被災地にも献金を送ります。



1 ぎんなんをお着で拾う子どもたち  
その後も、洗って、干して、袋詰めをして、手描きのカードを貼って…子どもたちの手作業が続きます  
2 幼稚園で炒って一粒ずつ食べて、お家の方や、他の人たちにも差し上げます  
「おいしいぎんなんですよ」「バングラデシュの子どもたちのために献金をお願いします」



1



2

1 皆で協力してこんなにたくさんどんぐりが集まりました  
きれいに磨いて、箱詰めにして、聖テモテ幼稚園へ送りました  
2 どんぐりを囲んだ子どもたちの写真とお礼のお手紙が届きました

## 聖テモテ幼稚園 (福島県いわき市) との交流

東日本大震災の翌年、原発による汚染のために聖テモテ幼稚園の戸外では思うように遊んだり木の実を採集できないことを知った子どもたちが、協力してたくさんどんぐりを集め、段ボールに詰めて送りました。その後、聖テモテ幼稚園からも子どもたちの写真や感謝の手紙が届きました。こうして毎年交流が続けられています。2020年度には、現地でも外遊びが自由に行えるようになった知らせを受け、製作物や絵の手紙を送るなど、方法は変わりましたが、これからもこの交流を通して、他者に思いを寄せて祈ることを大切にしていきたいと思っています。

# 教員紹介

—先生の専門と学んだきっかけは？

経済学にもいろいろな分野がありますが、私の専門はEU経済論です。大学に入った時、最初は法律家がかっこいいなと思って履修した授業があまりにもつまらなくて、「やりたいことがなくなった……」と呆然とした時に出会ったのが経済学でした。ちょうどユーロが流通し始めて、アメリカに匹敵する大きな経済圏がヨーロッパにできた瞬間に居合わせたことにすごくロマンを感じました。

—経済学を学ぶ魅力って何ですか？

経済学そのものというより、経済の視点から世界をみることで、英和生一人ひとりの生き方自体が面白くなるんじゃないかと思っています。「おしゃれなパリ」が持つイメージはフランスのバリとしてみるか世界の中のバリとしてみるかで大きく変わります。国際的なファッションブランドが何故パリから次々と生まれていくのか、経済の視点が教えてくれます。経済学は私たちの生活の見方を変えてくれる身近な学問です。

—大学で楽しく学ぶポイントは？

実は、授業での学びは自分の生活や人生とつながっていきます。その中で何か新しいことが見つかったり過程を楽しんでください。例えば、EUに一つの通貨ができたように、また、コロナが日常を全て変えたよ

## ▶▶▶ 学生からのメッセージ



国際社会学部国際社会学科4年  
(左) 金子 有羽さん  
(右) 篠原 うみさん

ゼミではEU経済について学んでいます。他大学との合同研究発表会もあり緊張しましたが、プレゼンや議論のスキルが身に付きました。高崎先生は学生思いで自主性を尊重してくれる優しい先生です。常にゼミ生を気にかけて小さな変化にも気付いてくださいます。どんな相談事もできる先生に出会えたことは貴重で、東洋英和を選んで良かったことのひとつです。

## Haruka Takasaki

ゆるふわ英和ライフのススメ



大学

国際社会学部国際社会学科  
高崎 春華 講師

九州大学大学院経済学府博士後期課程修了。博士(経済学)。2016年4月に着任。国際経済に関する授業を担当。趣味は美術鑑賞、水族館巡り、コーヒーと紅茶。今年の目標は、コツメカワウソの握手会に参加すること。



今年もコーヒープロジェクト「一杯のコーヒーから始まるSDGs」やっています♪

うに、現実には信じられないようなことが起こります。言い換えれば、できないことは何もないのです。そんな世界をみるために自分の「軸」を見つけないと、大学の学びはそのために楽しく使ってほしいと思います。

—大学生活を充実させるヒントは？

自分の興味がある学内プロジェクトに、とりあえず参加してみることが「楽しさ」の始まりです。英和は学生と先生や職員の距離が近く、お互いにフラットな関係の中で目的を共有して成果を出すことを経験できます。私はコーヒープロジェクトに関わっていますが、身近な「一杯のコーヒー」からでもSDGsに貢献できると「実感」することが大学生活充実への一歩になると思います。

—英和生へ励ましのメッセージを！

今は自分に確信が持てなくても、いろいろな学びの機会を通して得られる、ふつふつと湧いてくる「根拠のない自信」や「インスピレーション」を大切にしてください。どうすれば「自分がハッピーになれるか」に常に貪欲になって、彼氏のハッピーより自分のハッピーを優先する(笑)。無理に意識高い系を目指すのではなく、キャンパスでたくさん笑って、たくさん凹んで、「やりたいことをやってみよう！」っていう、ゆるふわな軽いノリで頑張る感じで大丈夫です！

—幼稚園教諭になった理由を教えてください。

子ども時代に学校生活が楽しかったので、その時そばにいてくださった「先生」という存在に憧れを持っていました。また高校生の時に従姉妹の赤ちゃんを母が昼間預かっていて、私も帰宅するとあやしたり、オムツを替える手伝いをしたりしました。その時に日々変化する赤ちゃんが可愛くておもしろくて小さい子どもに関わる仕事がしたいと思いました。その後、東洋英和の短期大学保育科に入学したのですが、素敵な先生方と出会い、豊かな授業を受ける中でますます幼稚園教諭になりたいという気持ちが高まりました。

—子どもとの生活の中で大切にしていることは何ですか？

キリスト教保育の土台は子どもも子どもをめぐる大人も神さまに愛されている安心のもとで過ごすことだと思います。私自身が神さまに支えられて子どもを受け止め、愛をもって接したいと思っています。そして子どもの内なる思いや言葉を聞ける大人でありたいと思います。子どもは自分の気持ちをうまく言葉に表せないことがあります。どのような思いを持っているのか子どもの表情や行動から考え、接し方や支え方を考えています。

### ▶▶▶ 同僚からのメッセージ



大学付属かえで幼稚園  
伊藤 智春 教諭

子どもたちは、永瀬先生と一緒に過ごす時、とても安心しています。そして想像力豊かにお話を作ったり、絵を描いたり、遊びを創り出す永瀬先生から生まれてくるものを楽しみにしています。

私は、先生の子どもたちへの温かいまなざしや関わり、保護者への丁寧なことばがけに学びながら毎日を過ごしています。また共に過ごす中で子どもの見方・遊びや生活の支え方・子どもとの礼拝で大切にすること等を教えられ導かれています。

# Masumi Nagase

愛されて育つ



### 大学付属かえで幼稚園

## 永瀬 真澄 教諭

東洋英和女学院短期大学保育科にて幼稚園免許、保育士免許を取得。2000年より大学付属かえで幼稚園に着任。現在は保育主任。好きなことはお話を語ること、もの作り（織物、木工など）、散歩。



木工で子どもがつくったドールハウスの家具

—幼稚園教諭をしていて嬉しいことを教えてください。

毎日、子どもたちと過ごす中で楽しいこと、嬉しいことがたくさんあります。例えば子どもが「先生、見て」と指さしたチューリップの芽を「芽が出たね」と一緒に喜び合う時、思い通りにいかないことで涙を流していた子どもが気持ちに折り合いをつけて前に進もうと動き出した時、子どもが生き生きと遊び、熱中して何かに取り組む姿に出会う時、時を重ね成長したことが感じられる瞬間……嬉しい気持ちになります。

—子どもと過ごす中で好きなことは？

子どもと心を交わしながら手を動かして何かを作ることも好きですし、体を動かして、ドッジボールをしたり、砂場で一緒に穴を掘ったりすることも好きです。かえで幼稚園には木工室があり、木工室の担当になると子どもが作っている横で自分も木を切ったり、やすりをかけたりします。子どもの「こういうものを作りたい」という思いを受け止め一緒に「どうしたらできるか」「どの材料がいいか」などを考えるそのプロセスも楽しいです。

英和生の活躍、ご紹介します！

### 海と魚のイラストレーター

**話**し方も、その声も、語る表情も女学生の頃のままの彼女が、鯖缶を持って登場しました。缶のラベルに描かれているのが、水産食品会社で缶詰の開発営業をしている彼女が描いた「鯖」です。宮城県石巻市で作っている「ストーンロールズ」というブランド名もつけました。

鯖缶を作っている工場は10年前の東日本大震災で7mの津波に遭いました。復興基金で翌年には稼働を再開したものの、震災前までの仕事は既に他社に移っていました。その後、大手コンビニエンス

ストアの鯖缶を作るようになり再建を果たしますが、コンビニブランドの鯖缶を石巻で作っていると知っている人は多くありません。「ストーンロールズ」は初めての自社ブランドです。変わったデザイン缶を見て思わず手に取ってくれる人が増えれば石巻を皆に知ってもらえるのではないかと。そして、鯖缶が売れば地元産業が活性化するのでないかと。「ストーンロールズ」の缶詰には石巻の鯖と一緒に復興への願いも詰まっています。幼い頃から動植物への興味関心が高く、中高部で生物部に所属し

ていた彼女は、将来は水族館などで海の生き物を育てる仕事や研究をする仕事がしたいと望むようになり、そこで、高等部卒業後、東京水産大学（現東京海洋大学）へ入学します。しかし選んだ学科は海洋生産学科。入学パンフレットに載っている銚子で刺されたバシヨウカジキの写真を見て、初めて私が学ぼうとしているのは漁業だ！と気付いたのです。専攻科では「漁船運用学」を専攻し、大学院では「漁具漁法学研究室」に所属します。卒業論文、まさき網漁業の漁獲物選別技術の研究

究」では長崎県松浦・佐世保の海で、鯖、鯖などの魚群を囲って巻き揚げるまさき網漁船に乗り込み、漁師の暮らしや、魚市場を見て回り、船上で漁師が捌いた鯖の刺身のお裾分けの美味しさに、「鯖」が大好きになります。漁船に神棚は付き物ですが、佐世保で乗船した船にはマリア像が飾られ、日曜日になると船を降り教会に向かった漁師の姿に、長崎のキリスト者の歴史の厚みも知る事になります。さて、無事大学院を修了した彼女は、スーパーマーケットの魚売り場に立ちます。それは、魚への熱い思いと漁師らの厳しい日々の営みに触れたからです。しかし魚売り場は11ヶ月で退職となりました。その後水産庁の外郭団体で事務の仕事を始めます。

日曜画家の祖父が褒めてくれる嬉しさに、幼い時から絵を描いていた彼女は、小学部で年に一度登場する本物の消防車を描いて初めて賞をいただいたり、中高部では球技会のしおりの表紙やクラス発表劇のポスター、楓祭パンフレットの挿絵を描いたりしていました。大学でも教授の論文の挿絵などを始め、多くの絵を描く機会が与えられていた自分にあらためて気持ち、仕事をしながらイラストの勉強を始めます。すると、イラストを通して出会う人々が多くなり、水産業界の知人から絵を頼まれたり、英和の同級生からの縁で、豊洲市場で個展を開く事になり、豊洲市場非公認キャラクター「いちばにゃん」などの制作も頼まれ、イラストの仕事も認められるようになります。そのような状況の時、今の水産食品会社に転職します。鯖缶の向こうに、学生時代に見た漁船の上の漁師と石巻の人々の姿が浮かび、今日も頑張るぞと思います。



加藤 都子

小学部より英和に学び、1995年高等部卒業、東京水産大学（現東京海洋大学）へ入学し、専攻科を経て大学院へ進学。修了後、スーパーマーケットの魚売り場の店員、水産庁の外郭団体の職員を経て、現在、石巻に関わる水産食品会社に勤務。またイラスト画家を目指して研鑽中。現在愛犬と共同生活。

彼女と共に登場した「鯖缶」に描かれた彼女のイラスト、「刺身も旨いが、缶詰も旨い！」と鯖が飛び跳ねていました。

（文：編集部）



石巻の復興を願い、鯖も頑張っています

# Maple Mall

創業 230 年の江戸蕎麦の専門店です

## 芝大門 更科布屋

金子 詩織 (2010 年高等部卒)、金子 美咲 (2011 年高等部卒、2015 年大学卒)、金子 真澄 (2013 年高等部卒)



**住所**  
港区芝大門 1-15-8  
**TEL**  
03-3436-3647  
**URL**  
<http://www.sarashina-nunoya.com/>



Check!

創業寛政 3 (1791) 年、更科伝統の濃厚な甘口のそば汁で「二八そば、変わりそば、10 割そば」をお楽しみいただけます。8 代目を私 (長女詩織) が引き継ぎ江戸からの食文化を伝えていきたいと思ひます。

厳選材料での手作り甘味と軽いお食事のほっとする店

## 山里段葛店

中畑 由未子 (旧姓岩瀬 1970 年高等部卒)



**住所**  
神奈川県鎌倉市小町 2-10-18  
二の鳥居ビル 1 階  
**TEL**  
0467-24-9244  
**URL**  
<http://www.yamasato.co.jp/>



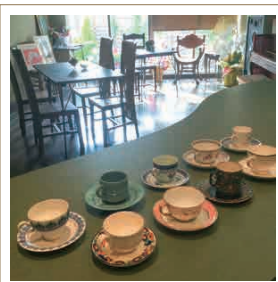
Check!

「また来ますね」とお客様の声を励みとし、若宮大路にて 45 年続いているお店です。鎌倉らしさを大切に、看板メニューは「クリームあんみつ」と「けんちんそば」です。

良い音と美味しいお飲み物をお楽しみくださいませ

## 赤坂 salon のら犬

湯川 倫代 (旧姓小川 1975 年高等部中途退学)



**住所**  
港区赤坂 3-9-4 赤坂扇やビル 7-b  
**TEL**  
03-6277-6143  
**URL**  
<https://t.co/g6qfw1O6v>



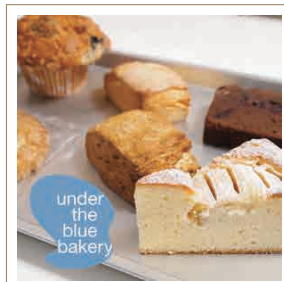
Check!

赤坂見附駅から徒歩 1 分。貸切のできる喫茶店です。JBL スピーカー真空管アンプ 4K プロジェクター 80 インチスクリーンで素晴らしい映像を！皆様の大切なお集まりにぜひお使いください。

南青山の空の下、週末だけ現れるお菓子屋さん

## under the blue bakery

押田 聡美 (2003 年高等部卒)



**住所**  
港区南青山 4-18-10  
**URL**  
<https://www.undertheblue.tokyo>



Check!

週末だけオープンする焼き菓子屋さんです。ニューヨークと都内有名店で修行したベーカリーが、優しい甘さのアメリカンなお菓子を数十種類手作りし販売しています。表参道駅より徒歩 5 分。根津美術館のすぐそば。

### 一 港区と東洋英和女学院の連携事業一 東洋英和女学院大学 村岡花子記念講座 教育の未来を考える

2020 年度村岡花子記念講座は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、開催を中止いたしました。2021 年度は前年度予定しておりました講座内容を、新型コロナウイルス感染状況を鑑みつつ開催を検討しております。

「ヴォーリズの学校—そのキャンパス・デザインに込めたもの—」  
講演：山形政昭氏 (大阪芸術大学名誉教授)

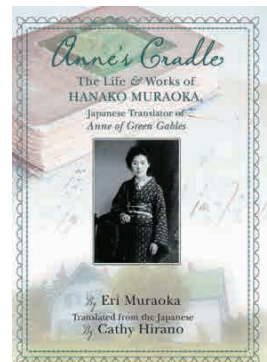
「ことばを育むための英語教育—村岡花子から学ぶこと—」  
講演：鳥飼秋美子氏 (立教大学名誉教授)

日時・会場等詳細につきましては、東洋英和女学院大学生涯学習センターホームページ、またはチラシにてご案内させていただきます。  
なお、開催時期の新型コロナウイルス感染状況により中止となる場合がございますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ】  
東洋英和女学院大学生涯学習センター  
横浜キャンパス事務室  
〒226-0015  
神奈川県横浜市緑区三保町 32  
E-Mail: shougaictr@toyoeiwa.ac.jp  
TEL : 045-922-9707  
FAX : 045-922-9701  
主催：東洋英和女学院大学  
共催：港区麻布地区総合支所

### 村岡恵理氏『アンのかご』 カナダの Nimbus 社より英訳本が刊行されました

村岡恵理氏 (1986 年高等部卒) の『アンのかご 村岡花子の生涯』の英訳本 Anne's Cradle が平野キャシー氏の翻訳によりカナダの Nimbus 社から 2021 年 5 月に刊行されました。この翻訳事業は学院創立 135 周年・大学開学 30 周年事業の一環として企画され、長年にわたる村岡花子氏の学院への貢献に感謝をこめて学院から出版助成を行いました。



## トロントよりオンラインで解説到着 ―村岡花子文庫 洋書目録刊行―

**史** 料室委員会では、今年の3月に『東洋英和女学院 資料集 第七号 村岡花子文庫 洋書目録』を刊行いたしました。二〇一四年度に学院に寄贈された村岡花子の蔵書のうち、今回は洋書約八〇〇冊分の目録の刊行となりました。

その中にはあの『赤毛のアン』の原書、『アン・オブ・グリーン・ゲイブルス』もあります。が、あまりにも広いジャンルにわたる、花子さんが愛読した洋書たち。それらをどう解説するか悩んでいたところ、カナダのトロント公共図書館に勤務し、モンゴメリ研究家でもある梶原由佳さんからまたまお便りが届きました。

梶原さんといえば洋書のスペシャリスト。しかし、超多忙でいらつしやるので、ダメもとで解説をお願いすると、即座に素晴らしい洋書目録の解説が届きました。



撮影 D.Jason Nolan  
L.M. モンゴメリの銅像と座る梶原由佳さん  
(カナダ リースクデールにて)

それというのもトロントもコロナ禍でロックダウン、自粛生活の合間にご執筆くださったのです。  
梶原さんいわく「今回は、オンライン上でやり取りした目録を重視し、あえて現物を見ないで『想像だけで』という点を強調して解説しています。御校の学生さんや卒業生の皆様に、少しでも目録に関心を持ってもらえたらと願っています」とのこと。梶原さんによる村岡花子文庫の名解説、是非、「史料室だより」No.96 で読んでください。

- 「史料室だより」No.96 では、梶原由佳さんによる村岡花子文庫洋書コレクションの資料紹介、東洋英和で学び国際的に活躍したライブラリアンの福田なをみの特集記事を掲載しています。右記の URL もしくは QR コードからお読みいただけます。 <https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/publications/>
- 史料室 TEL : 03-3583-3166 / FAX : 03-3583-3329 ホームページ <https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/>



### 同窓会より

## 『すべての事について感謝しなさい』

テサロニケの信徒への手紙一 5章 18節

**新** 型コロナウイルス感染拡大により想像もできなかった厳しい状況の中、学院同窓会の活動も交わることが許されず限られた範囲での活動を続けております。そのような中、2020年6月の総会（議案送付にて開催）で新会長として矢野久美子さんをお迎えし新しい歩みを始めました。学院と共催の追悼記念日礼拝は学院関係者・同窓会代表者のみでお守りし、同窓会主催のクリスマス礼

拝は多くの方のご理解・ご協力のもと収録した動画を配信する方法で礼拝を守ることとなりました。そして3月の入会式では新会員をお迎えし、2021年度を迎えることができました。変わらず続く厳しい状況ですが、同窓生の力をあわせ、感謝をもって伝統を守っていく活動を続けたいと思っています。



動画配信により同窓会クリスマス礼拝を守りました

### 後援会より

## 後援会活動について

後援会長 牧 健太郎

**昨** 年から続く新型コロナウイルス感染症の流行は、大学から幼稚園までの各部の活動に大きな影響を与えています。子どもたちは未経験の環境下で神様に見守られながら日々努力を続けています。子どもたちを見守り、導いていただいている各部の先生方のご尽力に心より感謝申し上げます。このような環境下で、後援会の活動も制限せざるを得ない状況が続いています。2020年度は、6月に会計監事による会計帳簿の監査

を実施し、その後に昨年度決算・当年度予算の承認手続きに関する常任役員会を開催しました。また10月にも常任役員会を開催し、コロナ禍の後援会諸活動の制限について学院と意見交換しました。後援会全員が参加できる総会や、幼稚園から大学までの各部役員の皆さまに参集いただきさまざまな意見交換を行う機会、また楓祭の警備ボランティアなどが再開できるまで、残念ながら今しばらくの期間が必要かもしれません。

しかし、後援会費を財源とした学院諸活動へのサポートは継続して実施していく必要がございます。後援会費は、学院各施設の整備や拡充、六本木西地区再開発事業への支援、子どもたちの各種活動への支援などに使われています。このような後援会の諸活動についてはさまざまな媒体を通じて会員の皆さまにお伝えできるようにしてまいりますので、後援会の活動に引き続きご協力いただけますようお願い申し上げます。